

北興化学工業株式会社

2024年11月期 第2四半期
決算補足説明資料

2024年7月5日

東証スタンダード 証券コード4992

I 2024年11月期 第2四半期決算 ハイライト

<1. 連結業績 ①概況>

▶ 売上高

◆農薬事業は、国内販売が堅調に推移したことや、海外販売が中南米・韓国向けを中心に増加し、円安も寄与したことから**増収**

◆ファインケミカル事業は、電子材料分野が増収となったものの、主に医農薬分野が減少したことから**減収**

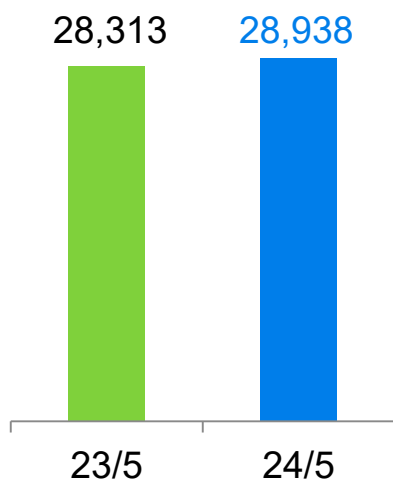
◆繊維資材事業は、主に産業用繊維素材の需要減少により**減収**

▶ 営業利益・経常利益・当期純利益

ファインケミカル事業の売上高減少、人的資本投資費用や物流費が増加したことから、営業利益は、3,402百万円、前年同期比294百万円(8.0%)の**減少**、経常利益は、3,966百万円、為替差益(134百万円)を計上したものの前年同期比40百万円(1.0%)の**減少**、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,677百万円、税金費用の減少により前年同期比122百万円(4.8%)の**増加**

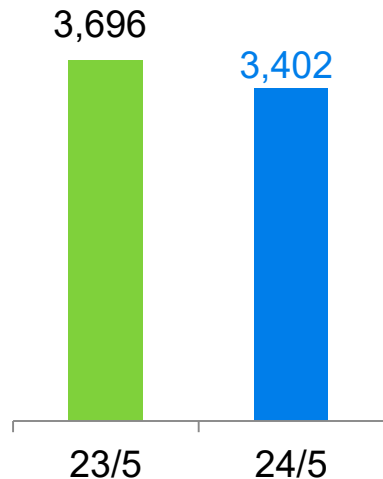
売上高

<前年同期比>
+625(+2.2%)



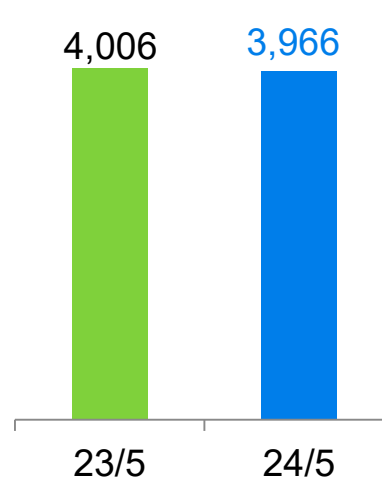
営業利益

<前年同期比>
▲294(▲8.0%)



経常利益

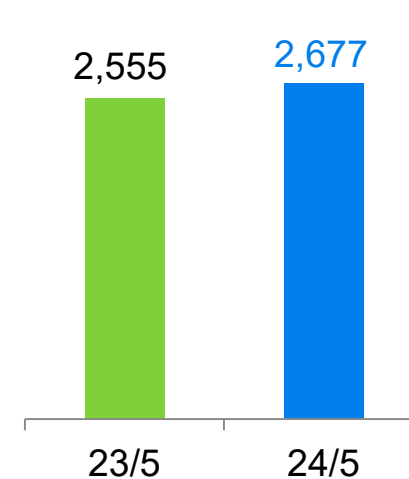
<前年同期比>
▲40(▲1.0%)



当期純利益

(単位:百万円)

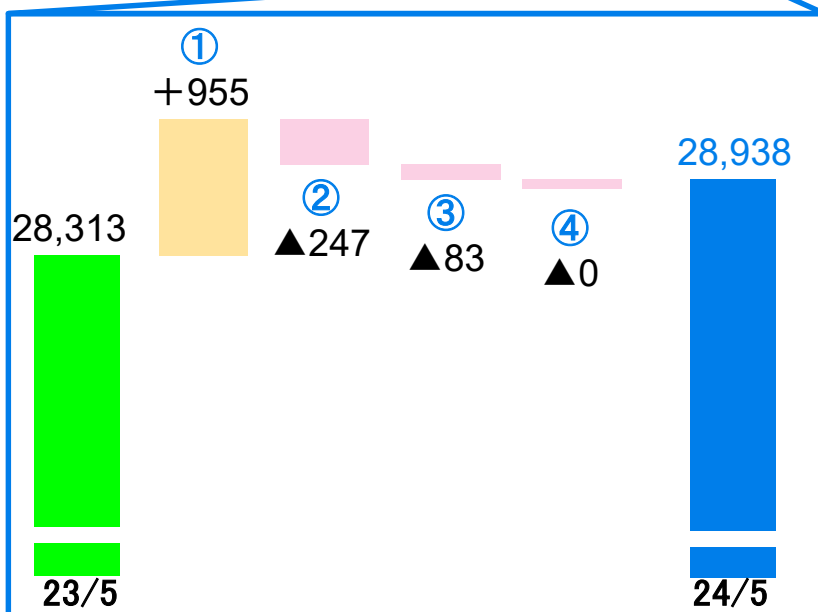
<前年同期比>
+122(+4.8%)



< 1. 連結業績 ②売上高 増減要因 >

(単位: 百万円)

	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前年同期比
① 農薬事業	18,544	19,500	+955
② ファインケミカル事業	8,833	8,586	▲247
③ 繊維資材事業	929	846	▲83
④ その他	6	6	▲0
合計	28,313	28,938	+625



① 農薬事業 +955百万円 増収

- ・国内販売+673百万円
- ・海外輸出+274百万円
- (以上、単体)

② ファインケミカル事業 ▲247百万円 減収

- ・樹脂分野▲107百万円
(石化用触媒+435、その他樹脂原料▲595)
- ・電子材料分野+282百万円
(半導体関係+84、フォトリソスト用原料+299)
- ・医農薬分野▲413百万円
(医薬: +136、農薬: ▲550)
- (以上、単体)

③ 繊維資材事業 ▲83百万円 減収

- ・産業用繊維素材の需要減少

④ その他 ▲0百万円 減収

< 1. 連結業績 ③営業利益 増減要因 >

(単位:百万円)

	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前年同期比
① 農薬事業	1,205	1,184	▲21
② ファインケミカル事業	2,449	2,191	▲258
③ 繊維資材事業	47	33	▲14
④ その他	▲6	▲6	▲1
合計	3,696	3,402	▲294

①農薬事業 ▲21百万円

営業活動費や物流費の増加等により**微減**

(参考)

2023年度第2四半期は、前年同期比213百万円の増益であった

②ファインケミカル事業 ▲258百万円

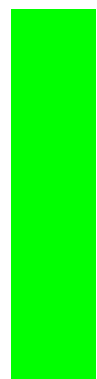
売上高減少に加え、中国子会社の主力品目である石化用触媒(主にTPP)の価格競争の影響や物流費の増加等により**減益**

③繊維資材事業 ▲14百万円

売上高減少により**減益**

④その他 ▲1百万円

3,696



23/5

①
▲21②
▲258③
▲14④
▲1

3,402

24/5

<参考> 営業利益の連単差

2024年度 552百万円(連結3,402—単体2,850)

2023年度 799百万円(連結3,696—単体2,897)

前期比 ▲247百万円

※主に中国子会社の減益が要因

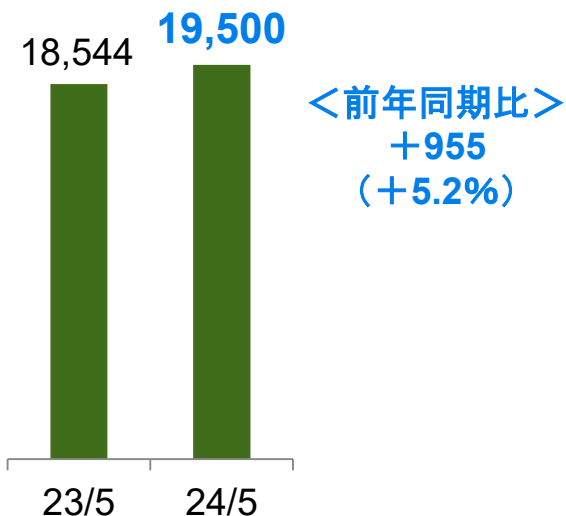


<2. 連結業績:セグメント別>

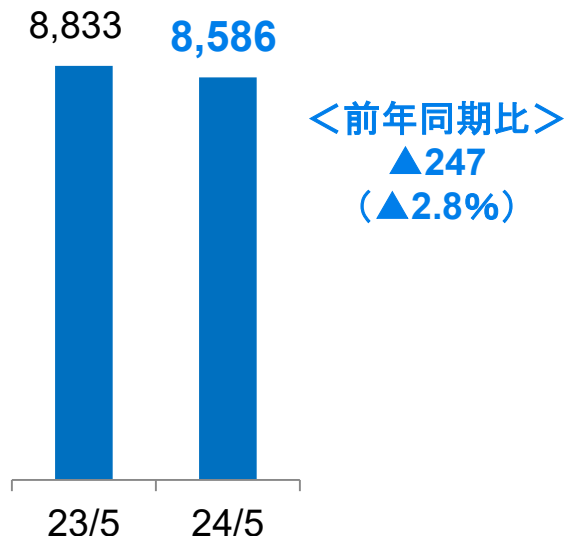
(単位:百万円)

売上高

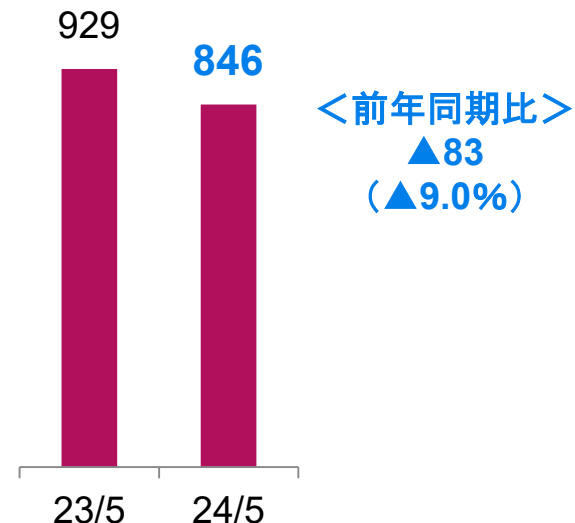
【農薬事業】



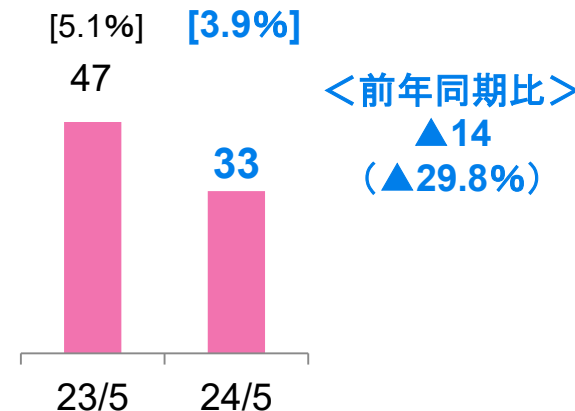
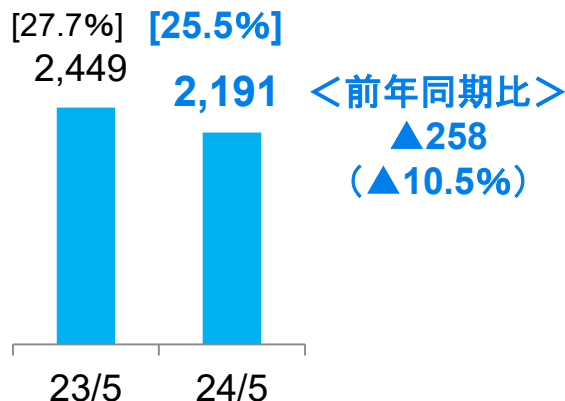
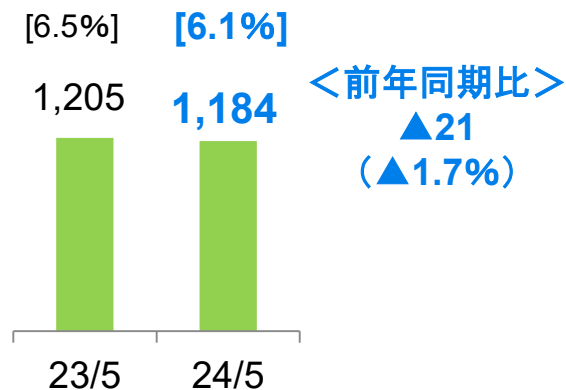
【ファインケミカル事業】



【繊維資材事業】



営業利益



※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率



<2. 連結業績:セグメント別 ①農薬事業トピックス>

➤ 国内販売

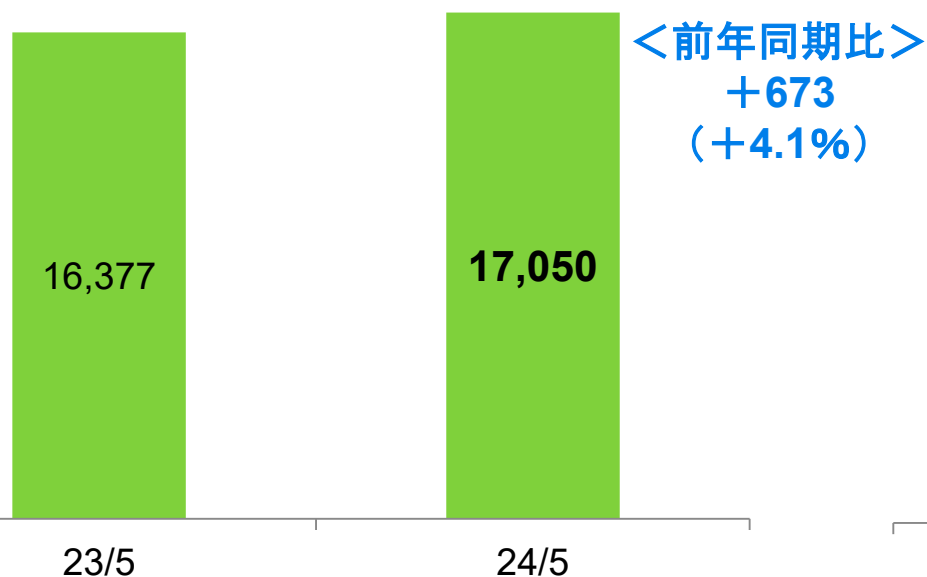
水稲剤においては水稲育苗箱剤ならびに除草剤が堅調に推移し、園芸剤においては特に園芸除草剤（ザクサ液剤）の販売が伸長し**増収**

➤ 海外輸出

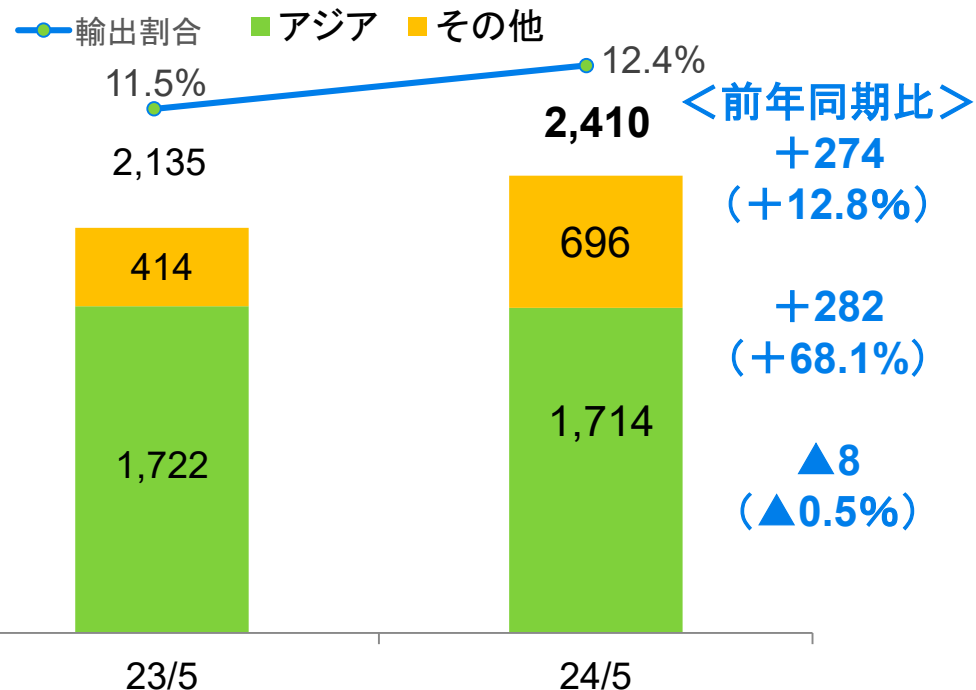
中南米（ブラジル等）向けの出荷や、円安効果もあり**増収**。アジア向けは韓国向け出荷が堅調であったものの、中国向け出荷が下期にずれ込んだこと等により**微減収**

国内販売(単体)

■ 国内販売



海外輸出(単体) (単位:百万円)



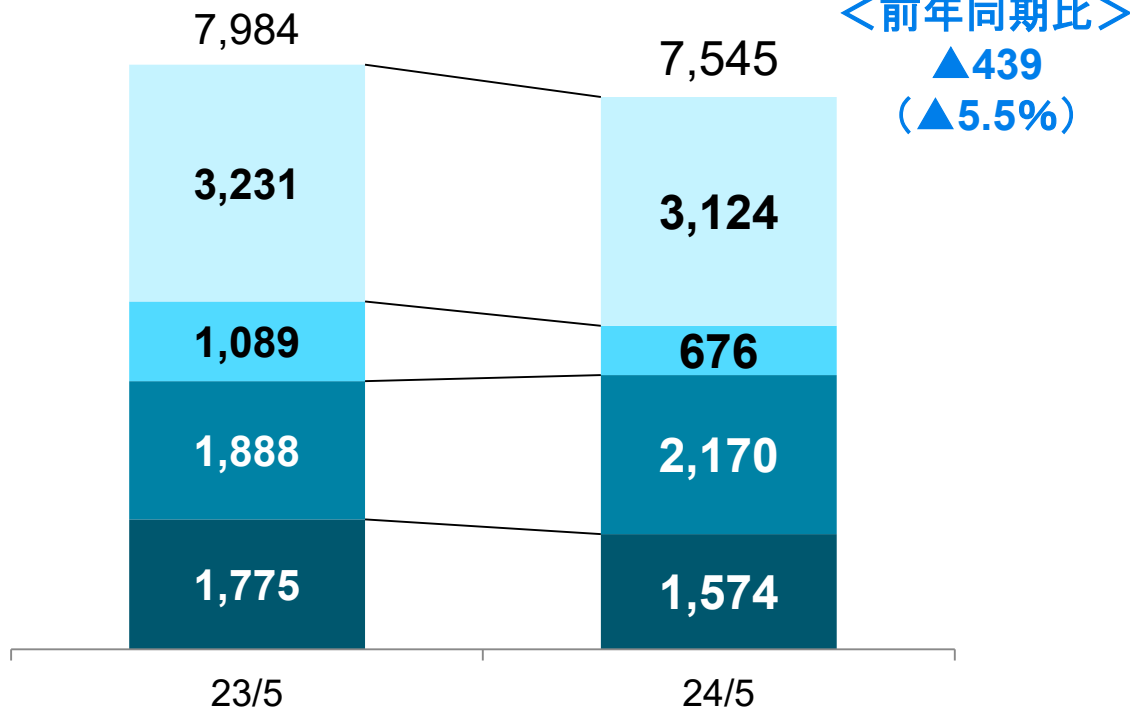
<2. 連結業績:セグメント別 ②ファインケミカル事業トピックス>

- 海外経済の減速や在庫調整の影響等を受け、樹脂分野のその他樹脂原料等の需要が減少。また取引先の需要変動により医農薬分野が減少したことから**減収**
- 樹脂分野における石化用触媒や電子材料分野は**増収**

分野別(単体)

(単位:百万円)

■樹脂 ■医農薬 ■電子材料 ■その他



*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。

<主な前年同期比増減内容>

- ◆樹脂分野: ▲107百万円 (▲3.3%)
 - ・石化用触媒: +435 (主にTPP)
 - ・その他樹脂原料: ▲595 (塗料、コーティング剤等)
- ◆医農薬分野: ▲413百万円 (▲37.9%) (原料および中間体)
 - ・医薬: +136
 - ・農薬: ▲550
- ◆電子材料分野: +282百万円 (+14.9%)
 - ・半導体関係: +84 (半導体封止剤用の硬化促進剤: CPU、メモリー等)
 - ・フォトレジスト用のモノマー原料: +299
- ◆その他: ▲201百万円 (▲11.3%)
 - ・食品飼料: ▲97 (TPP: ビタミンA、ベータカロチン用途等)
 - ・防汚剤: +51
 - ・エネルギー: ▲139



Ⅱ 第2次3カ年経営計画（2024 ～2026年度）への取り組み （トピックス）

<1. 岡山工場ファインケミカル事業専用化(Step1)>

- 成長を牽引するファインケミカル事業の生産能力増強に向け、岡山工場のファインケミカル事業専用化Step1を着実に推進。

《2024年度における主な取り組み》

- ① 半導体素材原料の供給体制増強
- ② 工場内施設(危険物倉庫等)の再配置推進(除草粒剤生産ラインの跡地活用)
- ③ 新工場(合成第10工場)建設の決定

- 次期3カ年経営計画(2027~2029年度)の専用化Step2として、農薬事業の生産体制を2拠点体制(北海道工場、新潟工場)とする集約化を推進。農薬事業の生産体制・生産設備の効率化を図るとともに、岡山工場のファインケミカル事業専用化の実現により同事業の生産能力の更なる増強(合成第11工場検討等)を目指す。

《岡山工場の農薬生産機能》

- ① 除草粒剤生産ライン⇒北海道工場(2022年10月新ライン竣工)に移管完了
- ② 一般粒剤(育苗箱剤)⇒新潟工場での生産開始を推進(2030年度を目途)



<2. 岡山工場合成第10工場の建設>

- 当社は、成長する半導体産業において、前工程(フォトレジスト用原料)および後工程(封止剤用硬化促進剤)における高品質の素材を提供している。
- 今回、当社の電子材料分野の主力製品であるKrFレジスト用原料の生産能力を増強するとともに、半導体産業が求める高品質な製品を供給するため、フォトレジスト製品専用の新工場建設を決定した。
- 新工場建設により、既存工場(岡山工場合成第5工場)を加えたKrFレジスト用原料の生産能力は概ね2倍になる。また、岡山工場におけるファインケミカル事業の生産能力が約21%増強する。
- 生産能力増強に加えて営業体制を強化することにより、電子材料分野(半導体素材)を軸に、ファインケミカル事業の売上高拡大を図っていく。

【岡山工場合成第10工場建設計画の概要】

項目	概要
主要新築建屋	鉄骨造り2階建て、延べ床面積1,432㎡
主要生産設備等	反応缶7基、ストックタンク1基、精留塔など付帯設備
主要生産品目、生産能力	レジスト類製品(KrFレジスト用原料)、970t/年
日程	着工時期 2025年8月(予定) 竣工時期 2026年12月(予定)
設備投資額、資金調達	約45億円(建物、設備等)、自己資金(予定)

【参考:ファインケミカル事業の売上高推移(単体)】

(単位:百万円)

	2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ファインケミカル事業	12,780	12,047	12,861	16,080	16,125
うち電子材料分野	1,724	2,877	3,274	3,903	3,676

*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。

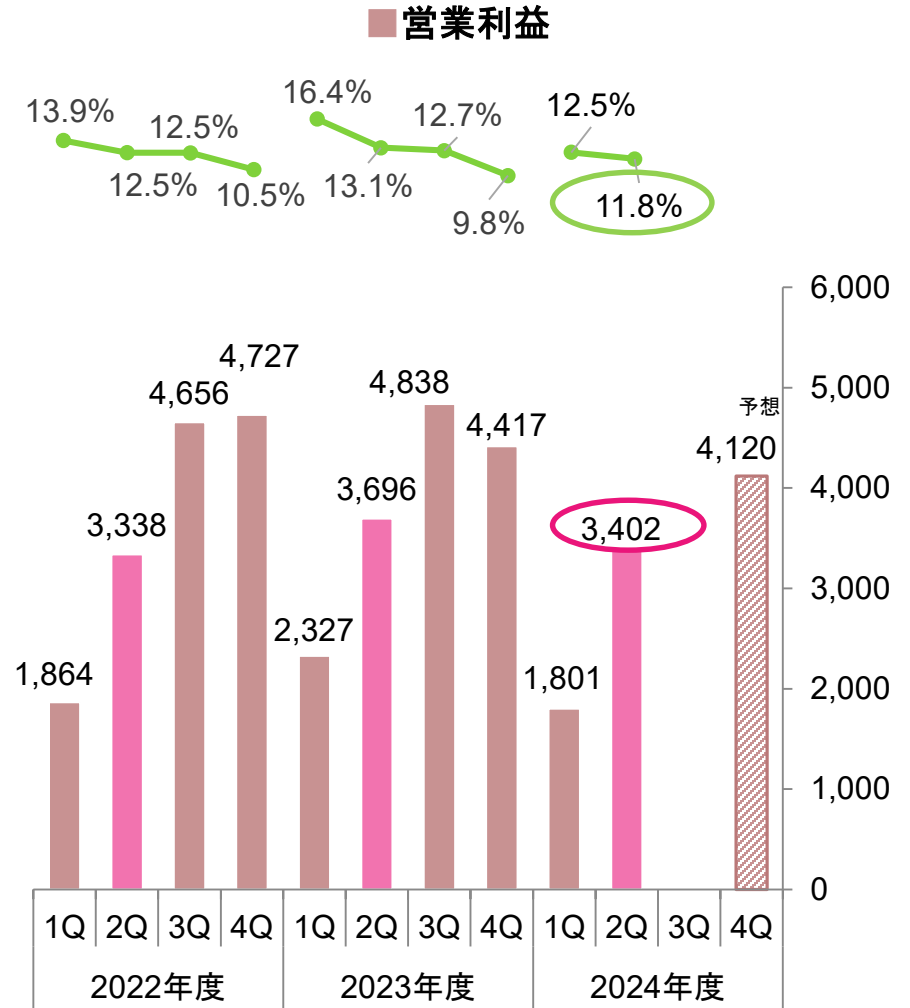
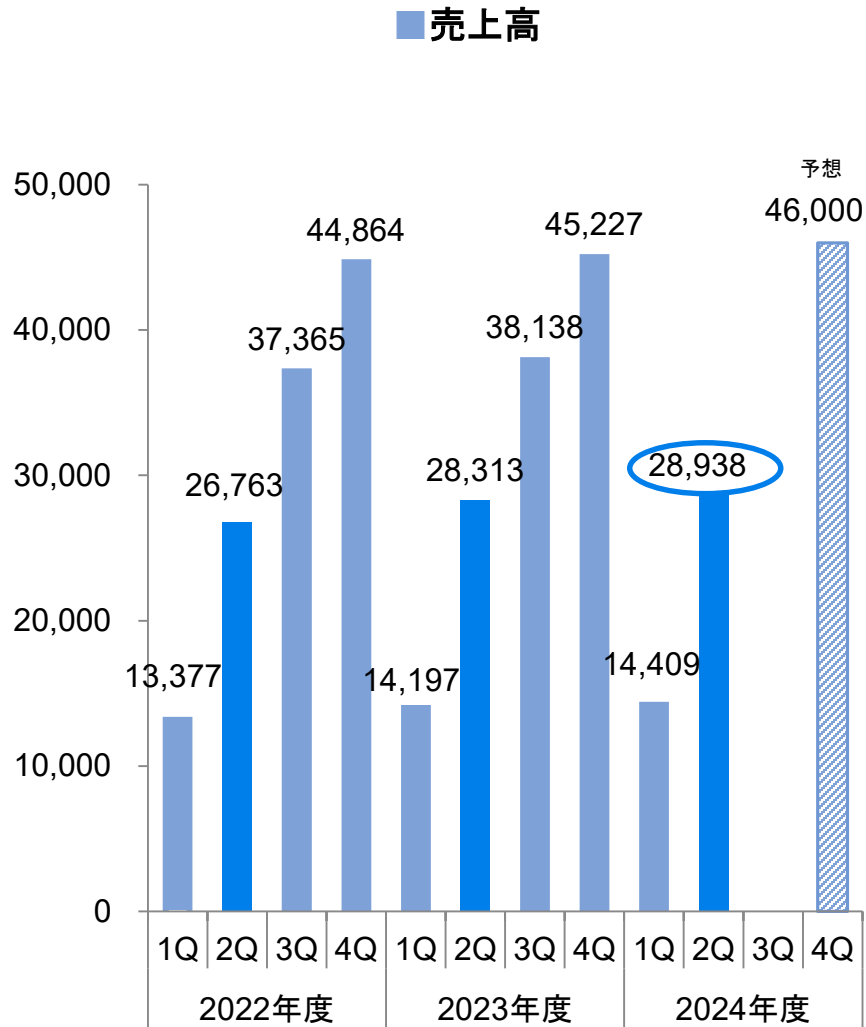


Ⅲ 【参考資料】

2024年11月期 第2四半期決算
データ編

＜①連結業績の進捗状況＞

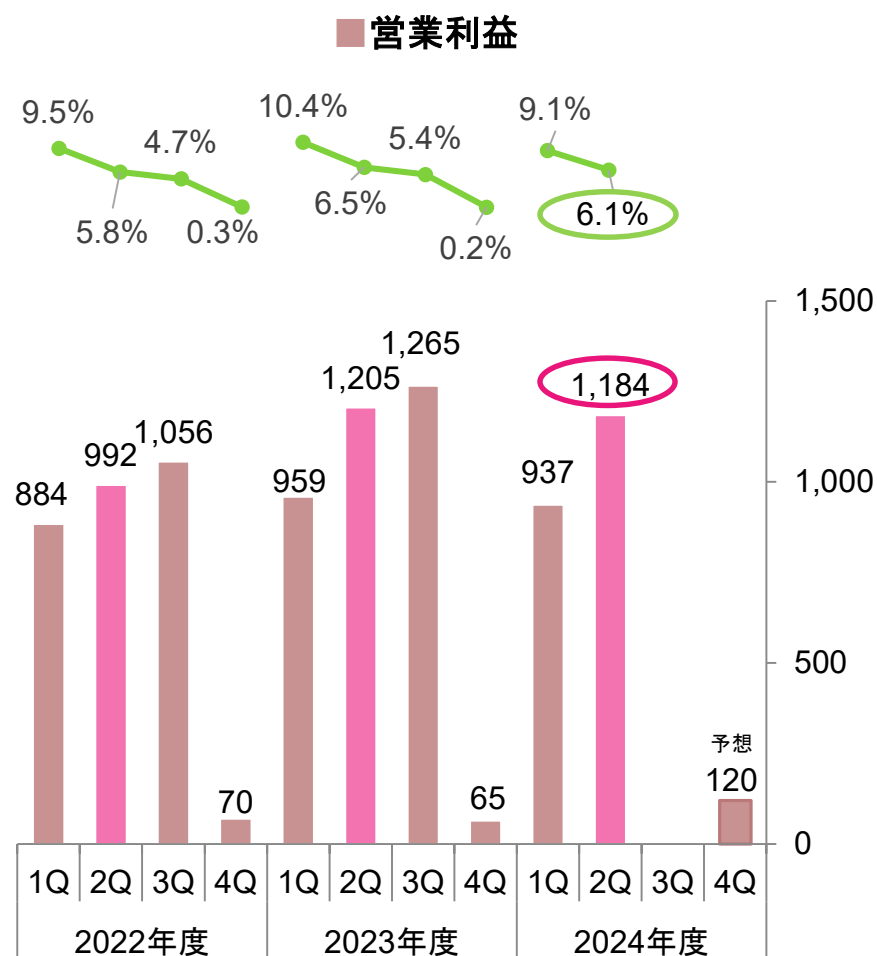
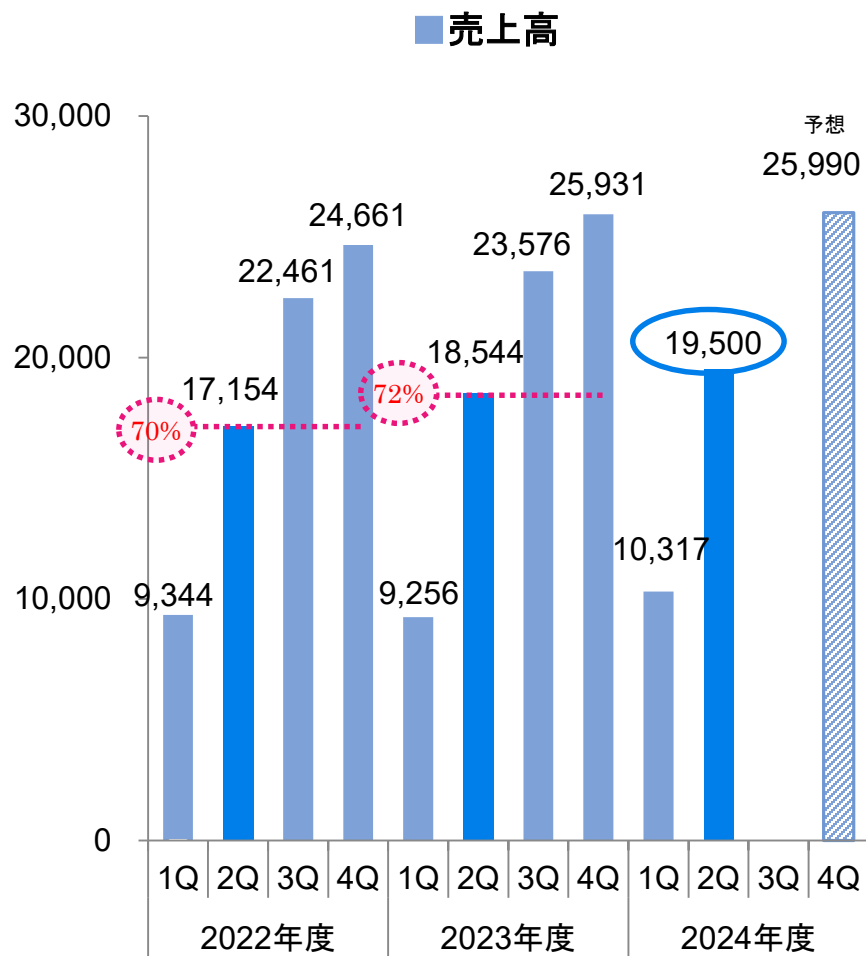
※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)



＜②連結セグメント別業績推移：農薬事業＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)

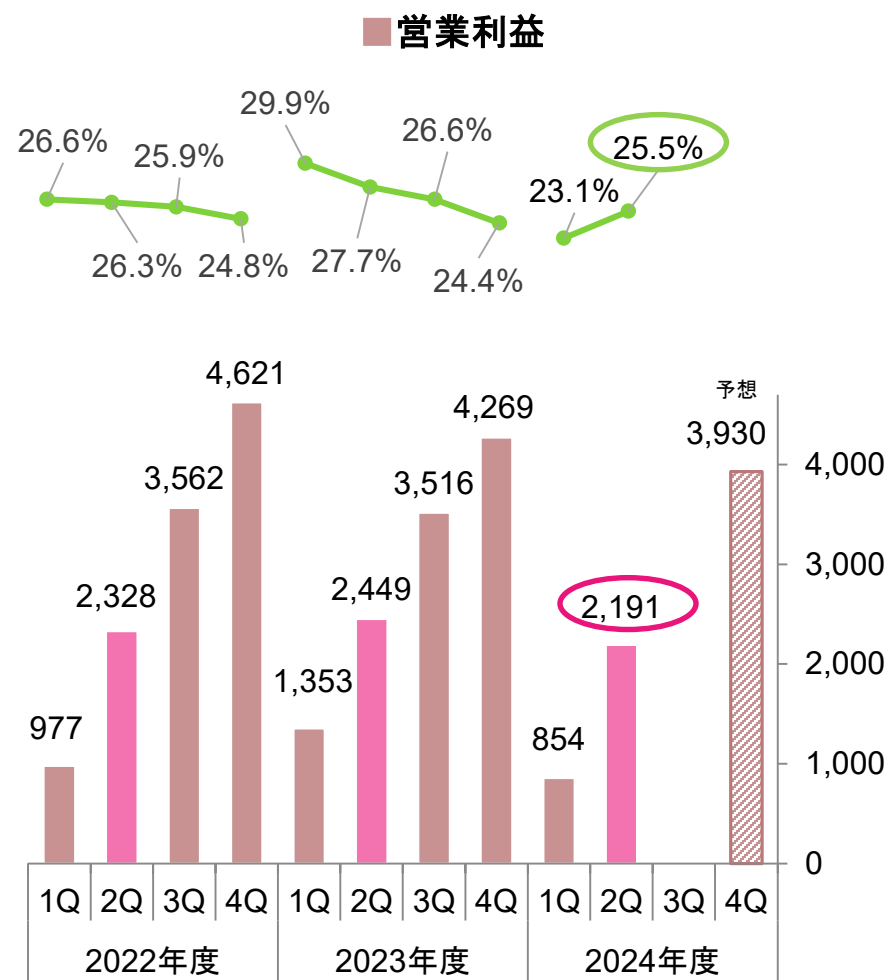
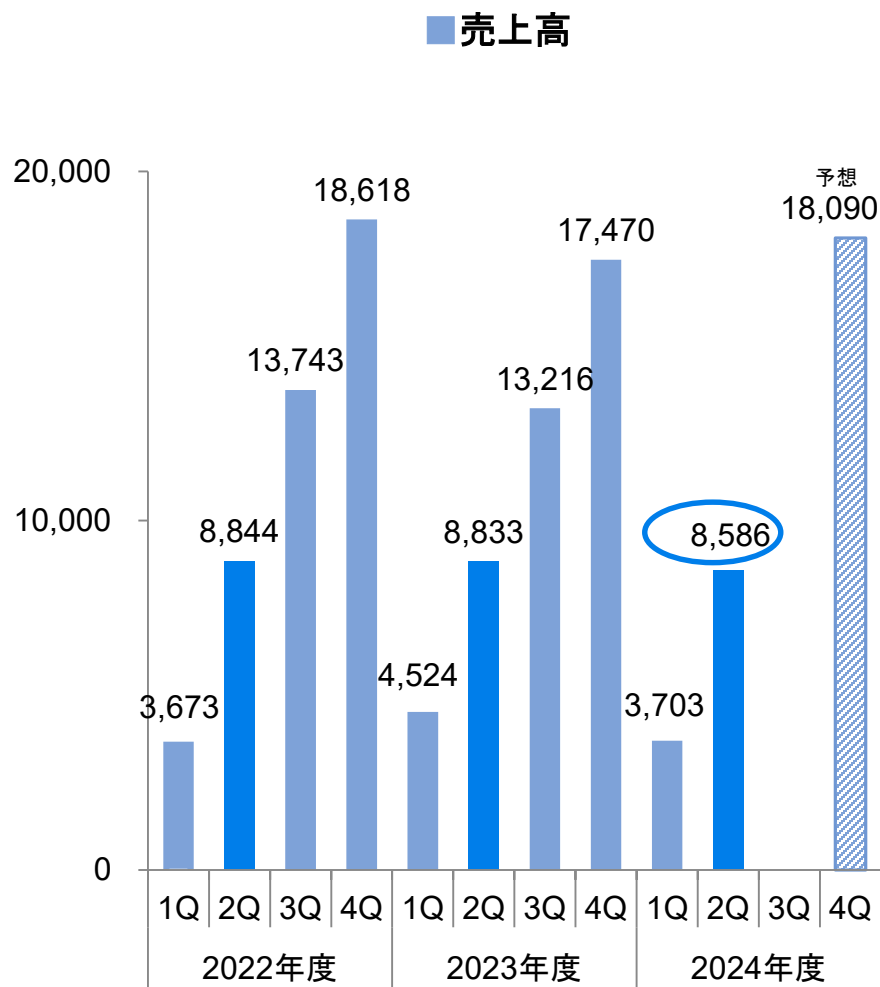
農薬の需要は季節性があるため、売上高・利益は上半期のウエイトが高くなる事業特性があります。



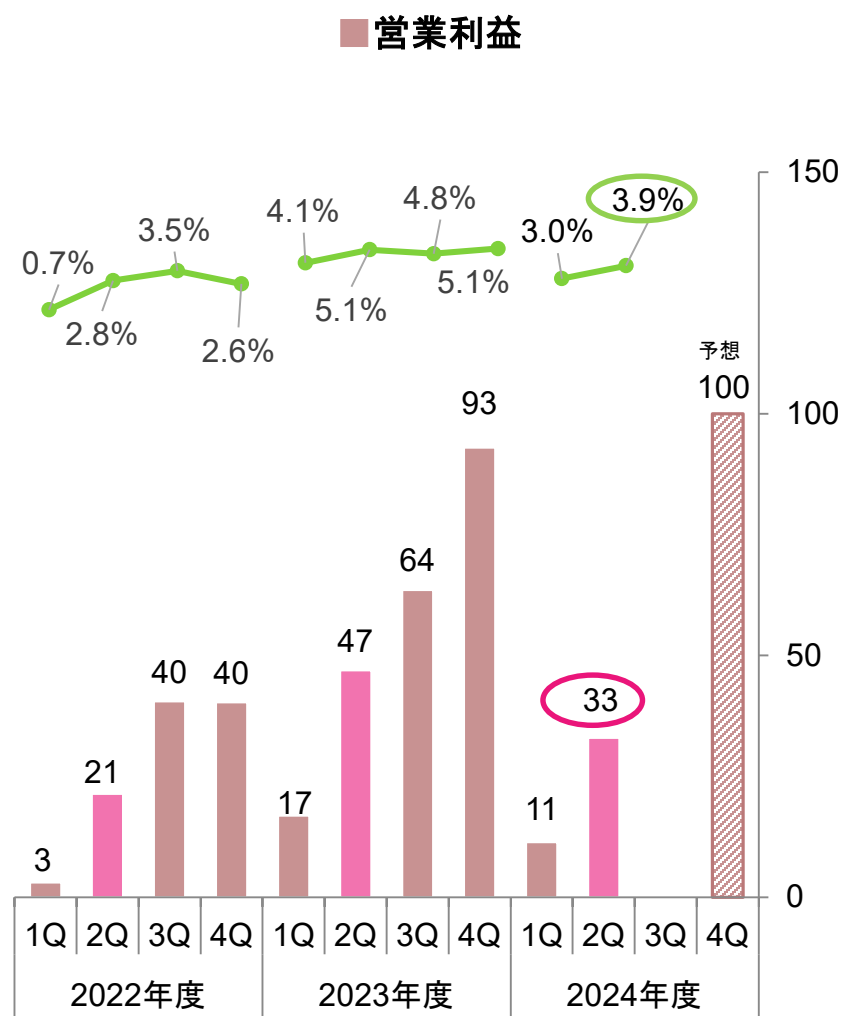
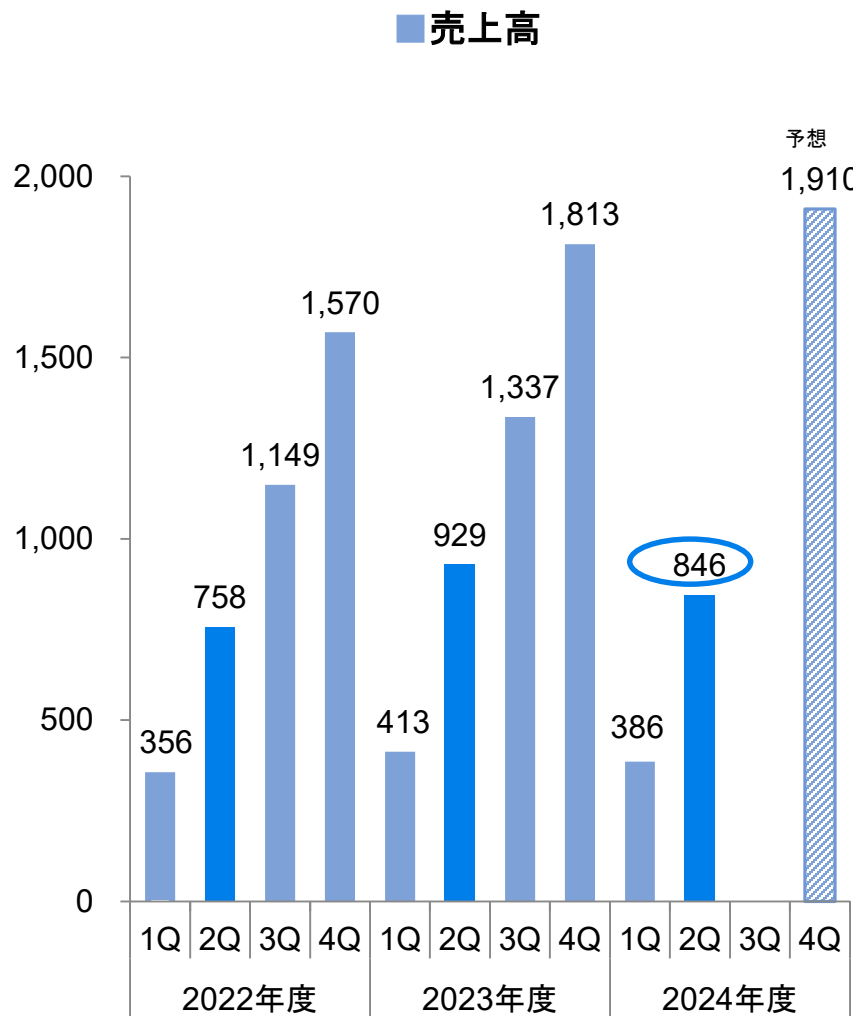
＜③連結セグメント別業績推移：ファインケミカル事業＞

※金額は各四半期時点における累計値

(単位：百万円)



＜④連結セグメント別業績推移：繊維資材事業＞ ※金額は各四半期時点における累計値
 (単位：百万円)



＜⑤連結セグメント別業績推移・・・四半期毎＞

- 第2四半期(3～5月)は、ファインケミカル事業における電子材料分野の一部や中国子会社の主力製品である石化用触媒(主にTPP)等で、緩やかながらも回復の兆しが見られたことから、増収・増益となった

(単位:百万円)

〔①2024年度〕

〔②2023年度〕

〔①－②前年同期比〕

セグメント	項目	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計
農薬事業	売上高	10,317	9,183	19,500	9,256	9,288	18,544	+1,061	▲105	+955
	営業利益 (利益率)	937 (9.1%)	247 (2.7%)	1,184 (6.1%)	959 (10.4%)	246 (2.7%)	1,205 (6.5%)	▲22 (▲1.3%)	+1 (0.0%)	▲21 (▲0.4%)
ファインケミカル事業	売上高	3,703	4,883	8,586	4,524	4,309	8,833	▲821	+574	▲247
	営業利益 (利益率)	854 (23.1%)	1,337 (27.4%)	2,191 (25.5%)	1,353 (29.9%)	1,096 (25.4%)	2,449 (27.7%)	▲499 (▲6.8%)	+241 (1.9%)	▲258 (▲2.2%)
繊維資材事業	売上高	386	460	846	413	516	929	▲27	▲56	▲83
	営業利益 (利益率)	11 (3.0%)	22 (4.7%)	33 (3.9%)	17 (4.1%)	30 (5.8%)	47 (5.1%)	▲5 (▲1.1%)	▲9 (▲1.1%)	▲14 (▲1.2%)



＜⑥連結業績予想対比の進捗状況＞

＜進捗状況＞

業績予想に対する第2四半期の進捗率は、売上高および各利益段階において前年同期を上回った。

〔2024年度〕

	2024年度 第2四半期	2024年度 業績予想	進捗率
売上高	28,938	46,000	62.9%
営業利益 (売上高比)	3,402 (11.8%)	4,120 (9.0%)	82.6%
経常利益 (売上高比)	3,966 (13.7%)	5,100 (11.1%)	77.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	2,677 (9.2%)	3,450 (7.5%)	77.6%

＜参考：前年同期＞

(単位：百万円)

	2023年度 第2四半期	2023年度 業績予想	進捗率
売上高	28,313	47,000	60.2%
営業利益 (売上高比)	3,696 (13.1%)	4,600 (9.8%)	80.3%
経常利益 (売上高比)	4,006 (14.2%)	5,300 (11.3%)	75.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	2,555 (9.0%)	3,800 (8.1%)	67.2%



本資料に記載されている業績予想・将来の見通しに関する記述等に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて判断・算定したものであり、実際の業績は、今後のマクロ経済動向および市場環境、並びに当社グループに関連する業界動向、またその他内部・外部要因等、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195

